

日本語版

TAIPEI 台北



日帰り
さんぽ



BOOK



CONTENTS

01 民生社区

05 内湖

11 北投

17 関渡

21 中山

27 萬華

33 城南

39 大稻埕



台北觀光サイト



電子版

発行人 余祥
編集長 鄒佳穎
副編集長 陳其睿
編集責任者 連爾歡・任玟芸
マーケティング 葉冠廷・林欣儒

2025年8月発行
発行所 台北市政府観光伝播局
住所 台北市信義区市府路1号4階
電話 1999 (台北市外からは02-2720-8889) 内線2029
企画・制作 視野創異行銷股份有限公司
編集 高田雅子 デザイン 謝均堯

TAI^台PEI^北

本冊子の著作権は台北市政府
観光伝播局に帰属します。
記事・画像の無断転用はできません。

民生社区

台北松山空港にほど近い「富錦街」を中心とした「民生社区」は、もとは1960年代に米軍が建設した居住地だったため、道路には余裕があり、緑地も多く、どこか海外のような雰囲気をもつ。近年は個性的なショップやカフェが続々と進出しており、「台北の代官山」とも呼ばれるおしゃれなスポットとなっている。台北松山空港から散策に出かけてみよう。



～ 緑豊かな台北の代官山 ～



店内ではガレットブルトヌの試食ができる



but. (we love butter)

📍 台北市松山区富錦街 102 号
☎️ (02)2547-1207
🌐 www.but.com.tw
🕒 13:00-20:30、
土曜・日曜 12:30-20:00

店舗は一見すると紳士服テラーだが、店の奥に進んでいくとギャラリーのような空間が現れる。実はこの店は、フランスブルターニュ地方の伝統菓子「ガレットブルトヌ」の専門店。フランス産無塩発酵バターを使った厚焼きクッキーは、サクサクした食感とバターの香りが楽しめる評判だ。台湾産の食材をふんだんに使ったクッキーはプレーン、パイナップル、生チョコ入りなどがあり、現代美術のアーティストとコラボしたパッケージもおしゃれ。



紳士服テラーを模した店内



気になる茶葉の試飲もできる



ギャラリーでは茶器の展示販売も行っている

琅茶本舖

狼のロゴマークが描かれた茶缶がトレードマークの茶葉店。台湾各地の茶園で生産者が丹精込めて育てた単品茶（シングルオリジン）」と呼ばれる「単一農園・単一品種」の台湾茶を取り扱う。土地や気候、茶葉の品種ごとに香りや味わいに個性がある、奥深い台湾茶の世界に出逢える店だ。気になる茶葉の試飲ができるほか、ギャラリーで展示販売している茶器の購入も可能だ。

📍 台北市松山区民生東路四段 97 巷 6 弄 8 号 ☎️ 0970-844-235
🌐 wolftea.com/ja 🕒 13:00-19:00、日曜定休



Vintage & Deco

アメリカで購入した1880~1970年代の骨董品を中心に扱うアンティーク&ビンテージショップ。1階と地下1階の広大なスペースに、食器、家具、玩具、文具、ポスター、ノベルティ・グッズなどが所狭しと並んでいる。宝さがし気分、お気に入りのグッズを探してみよう。

📍 台北市松山区
富錦街 429 巷 1 号
☎ 0916-216-828
🌐 [instagram.com/vintageanddeco](https://www.instagram.com/vintageanddeco)
🕒 13:30-19:00、
土曜 13:45-17:30、
日曜 13:30-17:00



松果院子

イタリアンベースのカジュアルなレストラン。灯りを落とした店内は落ち着いた雰囲気、普段使いにも、友人や家族との食事会にも最適。おすすめは宜蘭県三星郷の合鴨農法の有機米を使用したイタリアンリゾットやシナモンロール。ランチやディナーのピークタイムは平日も満席となることが多いので、予約がおすすめ。



トリュフのリゾット



カラミのリゾット



📍 台北市松山区
富錦街 449 号
☎ (02)2765-0386
🌐 www.r-pinecone.com
🕒 11:30-21:00



民生工寓

古いアパートの1階にひっそり佇む静かなカフェ。路地側の壁一面はガラス張り、昼間は木漏れ日が差し込むなか、窓の外の緑を眺めながらカフェタイムが楽しめる。ハンドドリップで淹れたスペシャルティコーヒー、水出しコーヒー、イタリアンコーヒーなど、こだわりのコーヒーのほか、バイクドチーズケーキやレモンケーキなどのスイーツも人気がある。



📍 台北市松山区民生東路四段 56 巷 1 弄 3 号
☎ (02)8712-1220
🌐 [instagram.com/coffee.essential.cbar](https://www.instagram.com/coffee.essential.cbar)
🕒 11:00-19:30



📍 台北市松山区富錦街 353 号
☎ (02)2749-5225
🌐 [instagram.com/fujintreecafe](https://www.instagram.com/fujintreecafe)
🕒 9:00-18:00



富錦樹咖啡

ライフスタイルブランド「富錦樹」が開いたカフェ。店内では厳選したスペシャルティコーヒーやスイーツ、軽食を提供している。晴れた日には半露天の席で富錦街の並木道を眺めながら過ごす気持ちがいい。

Fujin Tree 355

「富錦樹咖啡」の隣の「Fujin Tree 355」は、静かな住宅街だった富錦街が台北屈指のおしゃれスポットに生まれ変わったきっかけとなったセレクトショップ。アメリカ、日本、台湾のデザイナーの手によるファッションアイテムから工芸品まで、独自の美学で生活を彩ってくれる商品が揃う。



📍 台北市松山区富錦街 355 号 ☎ (02)2765-2705
🌐 www.fujintree355.com 🕒 12:00-19:30



大湖公園
 台北市内湖区成功路五段 31 号



錦帶橋

大湖公園

内湖盆地の東側、MRT大湖公園駅前に位置する公園。約13haの広大な敷地の大部分を占める大湖に隣り合う白鷺鷥山が映える。湖上にかけてられた優美な曲線を描く「錦帯橋」は、大湖公園のシンボリック的存在だ。湖岸の伝統的な中国風の東屋や見晴台「水榭歌台」とも相まって、山水の緑のなかで風雅な趣を醸し出している。緑地や遊歩道も充実しており、休日には大勢の行楽客が散歩やピクニック、釣りを楽しむ姿が見られる。

水榭歌台



内湖

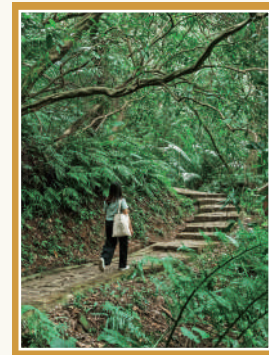
台北市の北東部に位置する「内湖」は、緑豊かな山々や静かな水面を湛える湖など、美しい自然に恵まれたエリア。MRT文湖線大湖公園駅から内湖駅の沿線には、勾配がそれほど厳しくない登山歩道がいくつもあり、気軽にハイキングが楽しめる。おしゃれな街のカフェや山中の静かな茶芸館などにも立ち寄りながら、一日かけてのんびり歩いてみよう。



～ 駅から気軽にハイキング～



白鷺鷥山から望む内湖エリア



白鷺鷥山登山歩道

大湖公園の南に隣接する「白鷺鷥山」は、海拔が143mと低く、登山口が市街地に近いため、手軽にハイキングが楽しめる。くねくねと右や左に曲がる階段が続くことから、「五十彎歩道」とも呼ばれている。登山歩道にはふたつの登山口があり、ひとつは大湖の南東端、もうひとつは南西側の金湖路に位置している。山林には山黄麻（ニレ科の灌木）が多く、相思樹や江某樹の大木や背の高いシダ植物などの珍しい植物も観察できる。爽やかな空気を胸いっぱい吸い込んで、森林浴を楽しもう。



大湖側登山口そばの老公祠と福祐宮



碧山巖から望む台北市内の夜景



碧山巖

MRT内湖駅北側の碧山路を1時間ほど登った碧山の山頂に位置する「碧山巖」は、台北有数の桜の名所として知られている。絶景スポットとしても知られており、廟前広場から見下ろす台北市内の風景はまさに圧巻の一言。日の出や夕景、ネオン煌めく夜景と、時間帯ごとに趣が変わる風景が楽しめる。廟に祀られる陳元光は、唐代末期に福建漳州地方を開拓した人物で、漳州の人々の守護神としてあがめられ、「開漳聖王」と称えられている。碧山巖は台湾最大の聖王公廟で、荘厳な雰囲気を漂わせる廟内は、いつも参拝者で賑わっている。バスでもアクセスできるので、気軽に参拝に訪れたい。

台北市内湖区碧山路 24 号 (02) 2796-3755
www.pkcswt.com.tw 5:00-21:30



台北市内湖区金湖路 34 号
(02) 8792-2953
www.gustavehenri.com 10:00-20:00

Gustave & Henri

「白鷺鷥山登山歩道」を金湖路から出て、MRT内湖駅に向かって歩いていると、まるでパリ10区にたどり着いたかのような、エレガントな外観の店舗にであう。そこが、ピストロ&パティスリーの「Gustave & Henri」だ。主力商品のキッシュやタルトをはじめ、ダックワーズやカヌレなどの商品は、どれも本場フランスの美味しさ。イートインはもちろん、自宅用やギフト用のテイクアウトも人気。





農舎田園咖啡

「農舎田園咖啡」は、白石湖吊橋から春秋歩道に入っすぐの場所に位置するカフェレストラン。農舎を改装した店内では、パスタやリゾットのほか、多彩なドリンクを提供している。冬のイチゴのシーズンには、併設の農園で栽培したイチゴを使ったスイーツやドリンクも登場する。天気の良い日は緑に囲まれた屋外席で過ごすのも気持ちがいい。



📍 台北市内湖区碧山路 38 号
📞 (02)2793-5448
🌐 facebook.com/FarmhouseCafeTaipei
🕒 11:00-18:30

農驛棧

「農舎田園咖啡」から徒歩3分の「農驛棧」は、台湾レジャー農業発展協会の「特色ある農業の旅フィールド認証」を取得し、「台北市食農探検隊体験型農場」にも選出されている観光農場。農場では有機栽培でイチゴや野菜を育てており、有機野菜や軽食の販売のほか、食農体験や郷土料理のDIY教室などのサービスを提供している。



📍 台北市内湖区
碧山路 45-8 号
📞 0912-472-001
🌐 instagram.com/lintsuiling
🗨️ 問い合わせ



白石湖吊橋

「白石湖吊橋」は、忠勇山と大崙頭山系をまたぐようにかかる全長116mの吊橋。塔を持たない直路式吊床版橋で、竜骨をイメージした藤色の橋と周囲の自然が溶け込んだ様子が美しく、人気の撮影スポットとなっている。白石湖レジャー農業エリア内に位置しており、周辺にはイチゴ狩りや農業体験を楽しめる観光農場も多い。農場が営むレストランのほかにカフェや茶館もあり、ただ風景を眺めてのんびり過ごすだけでも心が洗われる。碧山巖をはじめとした近隣の山寺や登山歩道をめぐるハイキングと組み合わせて、ロハスな1日を満喫しよう。

※改修工事中、2025年末完成予定



青果コーナーの新鮮な果物

北投市場 (中継市場)

MRT北投駅から徒歩約7分の「北投市場」は、庶民の台所であると同時に観光客にも人気のB級グルメ天国。現在、1980年代に建てられた市場の建て替え工事が進行中で、480あまりの店舗は2022年から向かいの「中継市場」に移転して営業を続けている。中継市場の建物は4棟あり、A棟が青果・食品、B棟が鮮魚・精肉・青果・食品、C棟が服飾・雑貨などの日用品、D棟が美食の売場となっている。珍しい食材や総菜を見ていると、地元の人たちの生活が垣間見えて興味深い。市場周辺にも人気の食堂や商店が集まっているので、足を運んでみよう。



伝統的な中華菓子

📍 台北市北投区横港路 33 号
 ☎️ (02)2894-5380
 🕒 5:00-17:00、月曜休市



北投

台北市北部の「北投」は、日本時代に温泉文化が開いた台湾北部を代表する温泉地。白硫黄泉、青硫黄泉、鉄硫黄泉の3つの泉質を擁する北投温泉は、温泉好きならぜひ訪れたいエリアだ。MRT北投駅から出発して、北投市場と周辺のB級グルメをめぐる、MRT北投駅前の温泉街で温泉と街の歴史にふれる、小さな旅に出かけてみよう。

～ 温泉地のグルメ & 歴史散歩 ～



林記碳烤爆漿胡椒餅

北投中継市場A棟から新市街を南に3分歩いた清江路の交差点にたつ屋台。林記の「胡椒餅」は、胡椒を効かせた細切りの豚肉とネギを小麦粉の生地で包み、タンドール窯の内側に貼り付けて高温の炭火で焼き上げている。パリッと香ばしい生地と、ピリリとした豚肉、ジューシーなネギのハーモニータンがたまらない美味しさだ。



📍 台北市北投区清江路 27 号 📞 0973-636-838
🕒 12:00-19:00

矮仔財滷肉飯

北投中継市場D棟の「矮仔財滷肉飯」は、平日も建物の外まで行列が伸びる超人気店。看板メニューの「滷肉飯」は、皮付きの豚バラ肉をサイコロ状に切りわけ、醤油ベースのたれでトロトロになるまで煮込み、白いご飯にのせた小ぶりの丼。見た目より脂っこくなく、漢方の香りもないため、日本人にも食べやすい味わいだ。つけ合わせには、味がよくしみた滷蛋（煮卵）や滷白菜（白菜の煮物）がおすすめ。



📍 台北市北投区磺港路 33 号 D 棟 418-421・432-434 🕒 7:00-13:00、月曜・木曜定休



高記茶莊

「高記茶莊」は、胡椒餅の屋台から清江路を東に、北投中継市場C棟に向かって歩いてすぐの場所にあるドリンクスタンド。1980年創業の老舗で、新北市の茶どころ坪林産の茶葉を使ったティードリンクを販売している。定番の紅茶、緑茶、烏龍茶、無憂茶（緑茶+烏龍茶）のほか、それぞれのお茶にミルクを加えたミルクティーも人気。

📍 台北市北投区清江路 25 巷 54 号
📞 (02)2896-3568 🕒 6:30-22:00



三六九炒飯炒麵

炒飯、炒麵（焼きそば）が人気の店。一番人気はプリプリの新鮮なエビ入りの蝦仁炒飯と、牛肉たっぷりの牛肉炒麵だが、エビと牛肉を両方合わせた欲張りバージョンもおすすめだ。酸辣湯や貢丸湯（豚肉団子スープ）とあわせていただこう。



📍 台北市北投区磺港路 33 号 D 棟 430
📞 0912-291-071
🕒 10:00-14:00 月曜・木曜・金曜定休

傳統之最豆花堂

MRT北投駅から徒歩3分の「傳統之最豆花堂」も、見逃せない名店だ。看板メニューの「豆花」は、絹ごし豆腐のようにやわらかな食感の豆腐プリン。トッピングは湯圓（白玉）、芋圓（芋団子）、粉圓（タピオカ）、緑豆、落花生、花豆、小豆から1種または2種が選べ、シロップの甘さの調整も可。夏はアイス、冬はホットでいただく。体が温まるホットの薑汁豆花（生姜シロップ）は冬におすすめ。

📍 台北市北投区大同街 71 号 📞 (02)2898-4112 🕒 6:00-17:30、月曜定休



阿宗蚵仔煎

北投中継市場A棟から磺港路を渡った向かいに位置する食堂。看板メニューの「蚵仔煎」は、でんぶんの皮の上に溶き卵とカキ、青菜をのせて焼き上げたカキのオムレツだ。皮は他店より薄くパリッとした焼き上がりで、生地の香ばしさと甘辛のたれがカキと卵のうま味を引き立てている。エビバージョンの「蝦仁煎」も美味。



📍 台北市北投区磺港路 20 号
📞 (02)2898-1033 🕒 11:00-22:30





新北投駅

MRT新北投駅駅前に戻ってきたら、駅南側の「七星公園」にも足を運んでみよう。公園内に佇む「新北投駅」は、日本時代の1916年に開業した台湾鉄道の駅。1988年のMRT建設に伴い、彰化の「台湾民俗村」に移されたが、2017年に元の場所の近くに再移築された。木造駅舎の裏手に復元されたホームには台湾鉄道の古い客車も置かれている。駅舎と客車の中では資料の展示や記念品の販売を行っており、自由に参観できる。駅舎前の手湯も人気。

📍 台北市北投区七星街1号 📞 (02)2891-5558
🌐 www.xbths.taipei 🕒 10:00-18:00、月曜休館

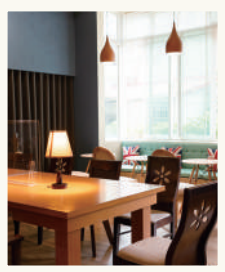


1975 Antique's Cafe Tea Room

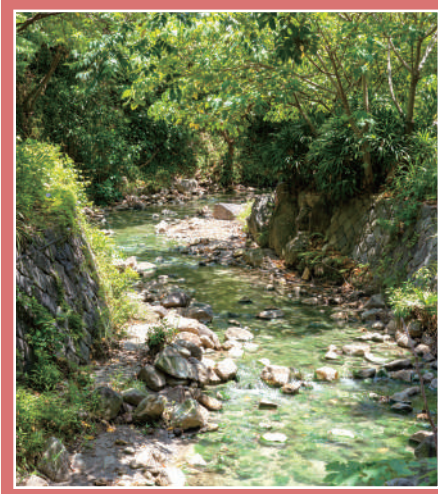
MRT新北投駅の北側にある「1975 Antique's Cafe Tea Room」は、英国スタイルのカフェ&ティールーム。店内は天井が高く落ち着いた雰囲気、ユニオンジャック柄の椅子やクッションがインテリアのアクセントになっている。メニューはスクランブルエッグと英国料理を合わせたランチをはじめ、スコーンやパイなどの手作りスイーツ、紅茶、コーヒー、ハーブティーを用意。散策の最後に、居心地の良い空間で北投の1日をゆっくり振り返ろう。



アフタヌーンティーセット



📍 台北市北投区大業路719-1号 📞 (02)2897-6885
🕒 12:00-20:00、土曜・日曜 9:00-20:00



温泉が流れる北投溪



百年石橋

📍 台北市北投区光明路と中山路の間

北投公園

北投市場から光明路を北に6分ほど歩くと、MRT新北投駅前の「北投公園」に到着する。公園内を流れる「北投溪」は北投温泉の源泉のひとつ「地熱谷」から流れ出した温泉の溪流で、日本時代には五つの温泉の滝（瀧）に露天温泉浴場が設置されていた。緑豊かな公園内には公園開設当時に築かれた石橋や建物も残っており、往時の雰囲気身近に感じられる。

北投温泉博物館

1913年に公園と同時に建てられた公衆浴場。和洋折衷の建物内には、畳の広間や洋室、バルコニーなどがあり、なかでも欧風の柱とステンドグラスの窓に囲まれた大浴場は必見だ。資料室には北投と日本の玉川温泉にのみ存在する「北投石」のほか、北投温泉の歴史を紹介する文物が展示されている。

📍 台北市北投区中山路2号 📞 (02)2893-9981
🌐 hotpringmuseum.taipei/jp/ 🕒 10:00-18:00、月曜休館



大浴場



地熱谷

📍 台北市北投区中山路30-10号 🕒 9:00-17:00、月曜休園

北投温泉博物館から中山路の坂道を5分ほど上った「地熱谷」は北投温泉の源泉のひとつ。地熱谷の岩石は「北投石」といい、放射性元素「ラジウム」を含んでいる。泉質は青みを帯びた強酸性の「青硫黄泉」で、源泉の温度は80℃から100℃に達し、水面には常に白い湯気が立ち上っている。園内の台湾形の手湯で青硫黄泉を体験してみよう。



瀧乃湯

北投温泉の南側、光明路に建つ日本式の温泉銭湯で、前身は1907年に開業した公共浴場。ここでは地熱谷から直接引いた「青硫黄泉」に入ることができる。入浴セットを販売しているので手ぶらでも温泉が楽しめる。

📍 台北市北投区光明路244号 📞 (02)2891-2236 🌐 www.longnice.com.tw
🕒 貸切個室風呂: 12:00-18:00、水曜定休
銭湯: 6:30-11:00、12:00-17:00、18:00-21:00
(入場は各回終了1時間前まで)、水曜定休





閩渡自然公園

MRT閩渡駅から歩いて15分ほどの「閩渡自然公園」は、淡水河と基隆河の合流点に広がる貴重な湿地帯で、水鳥の保護区としての役割も持つ。敷地面積57haにもおよぶ広大な公園は、マングロープをはじめとする湿地特有の水生物、シオマネキやトビハゼなどの水生生物、そして水鳥たちの楽園となっている。とくに10月から4月にかけての渡り鳥が訪れるシーズンは、300種類を超える鳥類が観察できる。園内には湿地を観察する望遠鏡や解説資料を備えた「自然中心館」のほか、遊歩道、水鳥の観察小屋などがあり、湿地の生態についてわかりやすく学べる。台北市内にいるとは思えないほど美しく、壮大な湿地の風景は必見だ。



閩渡

台北駅から MRT 淡水信義線に乗って約30分。淡水河と基隆河の合流点の北側に位置する「閩渡」は、豊かな自然と歴史文化にあふれたエリア。MRT閩渡駅の周辺は、水鳥の楽園の湿地、壮麗な河辺の廟、河岸の自転車道、昔ながらの商店、お洒落なコンテナマーケットなど、見どころが尽きない。閩渡駅で列車を降りて、淡水河岸のプチトリップを楽しもう。



～ 淡水河岸のプチトリップ～



関渡水岸公園

「関渡宮」前の「関渡水岸公園」は、水上バス「藍色水路（ブルーライン）」乗船地点のひとつ「関渡埠頭」の所在地で、有名な夕陽観賞スポット。園内には、遊歩道や自転車道が設置されており、レンタサイクル店や公共レンタサイクルYouBikeの自転車を借りて周囲の散策に出かける行楽客も多い。2024年5月に登場した「関渡埠頭コンテナマーケット」では、貨物コンテナを改装した飲食店で国際色豊かな料理やドリンクを提供している。ライブパフォーマンスやイベントが開催される週末や祝日には、来場者が数多く訪れ大いに盛り上がる。河辺の風景を眺めながら、リラックスした時間を過ごそう。



関渡埠頭



河岸の自転車道

関渡埠頭コンテナマーケット

📍 台北市北投区知行路 360-1 号 ☎️ (02)6605-7338
 🌐 [instagram.com/guandu.wharf](https://www.instagram.com/guandu.wharf) 🕒 16:00-22:00、土曜・日曜 12:00-22:00



関渡宮

淡水河側の財神洞入口

淡水河のほとりに建つ「関渡宮」の創建は清代の1712年。台湾三大媽祖廟のひとつで、広大な敷地には、精緻な石柱、石獅子、壁面彫刻が美しい正殿をはじめ、数多くの廟や寺院などの建物が並んでいる。なかでも正殿右後方の防空壕を改修した洞窟に千手千眼観世音菩薩を祀る「古佛洞」や、その隣の財神を祀る「財神洞」にはぜひ参拝したい。



財神洞



古佛洞

📍 台北市北投区知行路 360 号 ☎️ (02)2858-1281 🌐 www.kuantu.org.tw 🕒 7:00-21:00



德安茶行

「阿對雙胞胎」の並びの「関渡水岸公園」前に位置する「德安茶行」では、厳選した高品質の茶葉のほかにボトル入りの冷茶を販売している。鉄観音茶、高山金萱茶、蜜香紅茶など、美味しい台湾茶は散策のお供にぴったり。

📍 台北市北投区大度路三段 301 巷 223 号
 ☎️ (02)2858-1956 🕒 10:30-18:00、火曜・水曜定休

阿對雙胞胎

「雙胞胎」は中国語で双子を指す言葉。看板メニューの「雙胞胎」はドーナツに似た揚げパンで、2つのパン生地が繋がった双子のような姿が名前の由来だ。丸い甜甜圈（ドーナツ）やタロイモ餡をクラッカーではさんで揚げた「芋頭餅」もおすすめ。



📍 台北市北投区大度路三段 301 巷 222 号
 ☎️ 0918-880-607
 🕒 10:30-18:00、土曜 10:30-17:30、月曜定休



心中山線形公園

📍 台北市中山区中山北路二段 48 巷 7 号

中山エリアの散策は、MRT中山駅からスタートしよう。最初のスポットは、2019年にオープンした「心中山線形公園」。中山駅から雙連駅間の地上部に広がる緑地に、モダンな建造物やオブジェを配した美しい公園だ。なかでも中山駅4番出口と一体化した「心中山舞台」は、柔らかな曲線を描くコンクリート造りの展望台と広場が印象的な中山の新ランドマーク。クリスマスシーズンには公園全体がイルミネーションで彩られ、煌めく光の国に変身する。



Everydayware & co

「心中山線形公園」東側の路地は、おしゃれなショップやカフェが立ち並ぶエリア。「Everydayware & co」は、心中山線形公園に面した古いアパートの2階にあるセレクトショップだ。月と太陽と星が描かれた看板を目印に2階に上がると、窓の外に心中山線形公園の緑の木々が見える心地良い空間に迎えられる。店では実用的でありながらファッションセンスあふれるアイテムを揃え、台湾の消費者に新しい生活美学の概念を紹介している。独自の視点で世界中から厳選した商品は、テーブルウェアから、アウトドア用品、服飾雑貨、骨董品、ミリタリーグッズまで多岐にわたる。店内を見て歩くだけでも新しい生活のアイデアが掻き立てられそうだ。

📍 台北市中山区中山北路二段 20 巷 25 号 2F ☎️ (02)2523-7224
 🌐 [instagram.com/everydayware](https://www.instagram.com/everydayware) 🕒 14:00-22:00



中山

「中山」はデパートが集まる台北有数の繁華街でありながら、大通りから一本入ると昔ながらの下町の雰囲気が残る。近年は駅西側の「赤峰街」をはじめとした路地に個性派ショップが続々と進出し、感性豊かな若者を惹きつけている。新旧の文化が交差する街を歩いて、生活に彩りを添えるモノとの出会いを探してみよう。



～個性派が集うおしゃれな街～



PAR STORE

中山駅西側の「赤峰街」は、以前は町工場が立ち並び下町だったが、近年は古い建物を改装したショップやカフェが次々とオープンし、若者の注目を集めている。古い住宅ビルの地下に店を構える「PAR STORE」は、台湾のインディーズバンドのレコードやグッズ、独立系出版社の書籍、個性的な服飾雑貨などを扱うショップ。台湾のインディーズカルチャーに興味があるなら、ぜひ訪ねてみよう。



📍 台北市大同区赤峰街 3 巷 1 号 B1F
 📱 [instagram.com/par_store](https://www.instagram.com/par_store)
 🕒 14:00-20:00、金曜 - 日曜 14:00-21:00



Tella Tella Cafe

赤峰街の古民家の2階にある「Tella Tella Cafe」の目印は、赤いベレー帽をかぶった女の子と赤い文字の日本語の店名「テラテラ」が描かれた看板だ。狭くて急な階段を上って店内に入ると、そこには1960年代にタイムスリップしたような空間が広がっている。クリームソーダやプリンなど、レトロでキュートな喫茶店メニューが人気。



📍 台北市大同区赤峰街 49 巷 22 号 2F 📞 (02)2550-3077 📱 [instagram.com/tellatellacafe](https://www.instagram.com/tellatellacafe) 🕒 11:30-20:00

面線町

心中山線形公園に面した「面線町」は、極細麺をかつおだしベースのスープで煮込んだ台湾版煮込み素麺「麵線」の専門店。一番人気は、豚もつ煮込み入りのベーシックな「太陽麵線」に、新鮮なカキ、イカ、フィッシュチップスを加えた「海王子愛三寶」だ。カウンターに6席とドラム缶のテーブルだけと席数が少ないため、休日には長い行列ができる。



📍 台北市大同区赤峰街 49 巷 25 号
 📞 0932-055-466
 🕒 11:30-19:30、火曜定休



誠品生活南西

南京西路南側の「誠品生活南西」は、生活雑貨から衣服、コスメ、食品まで、幅広くセンスの良い台湾ブランドの商品が揃うデパート。5階には「誠品グループ」の代名詞である大型書店チェーンの「誠品書店」が入店している。4階の「神農生活」は、台湾産の食品、調味料、日用品をセレクトしたスーパーで、併設のレストラン「食習」では、店内で販売している調味料や食品を使用した台湾の家庭料理も味わえる。台湾の生活文化が感じられるスポットだ。

📍 台北市中山区南京西路 14 号 📞 (02)2581-3358 📱 [instagram.com/eslitenanxi](https://www.instagram.com/eslitenanxi)
 🕒 11:00-22:00、金曜・土曜 11:00-22:30





台北当代艺术馆

中山地下街を中山駅から台北駅方面に歩き、R4出口から地上に上がると長安西路に出る。西へ進むと、まもなく見えてくるレンガ造りの美しい洋館が「台北当代艺术馆」だ。時計塔を中心とした左右対称の造りをもつ建物は、日本時代は台北市建成小学校の校舎だった。戦後は台北市政府の管理下に置かれ、1994年に信義区に新庁舎が完成するまで市庁舎として使用された。1996年には台北市の古跡に指定され、美術館と中学校の校舎への転用が決まった。その後改修工事を経て、2001年に「台北当代艺术馆」として正式オープンを迎え、現在は台北の現代アートシーンをけん引する存在となっている。午後のひととき、100年を超える歴史を持つ空間で、現代アートと歴史的建造物の時代を超えた共演を楽しもう。



📍 台北市大同区長安西路 39 号 📞 (02)2552-3721
 🌐 www.mocataipei.org.tw 🕒 10:00-18:00、月曜休館



中山地下書店街

MRT台北駅から雙連駅の地下を南北に貫く「中山地下街」は、商店街と多目的広場で構成されている。このうち心中山線形公園の地下にあたるのが、2017年にオープンした「誠品R79」だ。全長270mに達する「台湾で最も長い書店街」のコンセプトは、「地下・読書・豊かなコミュニティ」。誠品書店、CDショップ、ギフトショップ、文具店、カフェなどが立ち並ぶ書店街は、都市のアートと文化、読者をつなぐプラットフォームとなっている。それぞれの店舗は独立しているが、左右の店舗に続く通路が設置されているため、読者は本の森の中を自由に移動できる。地下街では不定期で様々なイベントも開催しており、本好きをはじめとした幅広い人々を惹きつけている。



📍 台北市大同区南京西路 16 号 B1F(MRT 中山駅と雙連駅の間)
 📞 (02)2563-9818 🕒 10:00-21:30





龍山寺

泉州の名匠・王益順設計の三川殿



清代に漢人による開拓が始まった艋舺は台北最古の街。1738年創建の「龍山寺」は正式名称を「艋舺龍山寺」という。早期の龍山寺は、漢人の信仰の中心であると同時に、あらゆる問題や紛争を解決する街の中心でもあった。現在の外観の基礎は1920年の大改修時に完成した。福建省晉江県の安海龍山寺から分霊した本尊の観世音菩薩は、1945年に米軍による爆撃で正殿が全壊した際にも無傷だったことから、靈驗あらたかな仏像として崇められている。また、後殿に祀られた縁結びの神・月下老人も有名で、海外からも良縁を求める善男善女が参拝に訪れる。台北を代表するパワースポットで開運を祈願しよう。公式サイトから事前予約すれば日本語ガイドツアーにも参加できる。



台北市萬華区
廣州街 211 号
(02)2302-5162
www.lungshan.org.tw
6:00-22:00



正殿の本尊・観世音菩薩



萬華

「萬華」の旧名「艋舺(バンカ)」は、台湾原住民の言葉で「丸木舟」を意味する。「Bangka」に由来する。淡水河と支流の新店溪・大漢溪の合流点に面した街は、清代から日本時代にかけて水運の要衝として繁栄を極めた。MRT龍山寺駅から、今もあちこちに各時代の面影を残す「生きた博物館」の萬華へ時間旅行に出かけてみよう。

~ 台北最古の街の時間旅行 ~



東三水街市場 & 新富市場

「東三水街市場」は、康定路と昆明街にはさまれた路地に、五色水餃子が人気の「多餃舎」など、食べ歩きにも対応したご当地グルメが揃う庶民の台所だ。康定路の入口から50mほどの通路を右に入ると、1935年に完成した「新富市場」の建物に出会う。通風と採光のための吹き抜けを持つU字の馬蹄形をした市場は、日本時代は地域で一番のにぎわいを誇ったが、戦後は門前の三水街の屋台に客足を取られ衰退。1986年に「東三水街市場」が合法化されると、新富市場の凋落はますます加速した。その後、歴史的価値が認められた新富市場は2006年に台北市の古跡となり、2017年には文化・食・歴史・アートが一体となった「新富町文化市場」として生まれ変わった。伝統市場と文化市場を巡り、活気あふれる庶民の生活文化に触れてみたい。



多餃舎の水餃子はテイクアウトOK



新富町文化市場の展示



新富町文化市場

東三水街市場

📍 台北市萬華区三水街 (康定路と昆明街の間)
 📱 facebook.com/DongsanshuiMarket
 🕒 7:00-12:00、月曜休市

多餃舎

📍 台北市萬華区三水街 70-5号 (新富 005)
 🕒 8:00-15:00、月曜定休

新富町文化市場

📍 台北市萬華区三水街 70号
 📞 (02)2308-1092
 🌐 umkt.jutfoundation.org.tw
 🕒 10:00-18:00、月曜休館



青草巷

龍山寺を出て左に曲がると、「青草巷」と呼ばれる路地に出る。「青草」は中国語で薬草を指し、薬草を店頭にうず高く積み上げているのが「青草店」だ。昔まだ庶民が医者にかかることが難しかったころ、人々は体調を崩すと寺廟で神様に薬草の薬籤（処方箋）をもらい、青草店で薬草を調合してもらうのが常だった。医療が普及した現在も、「青草茶」と呼ばれる伝統的なハーブティーや薬膳料理は、日々のちょっとした身体の不調を癒すものとして、人々に重宝されている。西昌街沿いには青草茶のスタンドが何軒も並んでおり、散策中も気軽に青草茶で一服できる。暑気あたりや消化不良など、効能はさまざま。気になる青草茶があれば、ぜひ試してみよう。



萬華

店頭にうず高く積み上げた薬草



📍 台北市萬華区西昌街 224 巷



福大同茶莊

「福大同茶莊」は、「老明玉香舖」と同じ貴陽街で商いを営む老舗茶葉店。創業は清代の1845年で、6代にわたり製茶技術を磨いてきた。茶葉それぞれの香りと特徴を引き出し、さらに高める炭火焙煎は、福大同ならではの高度な技術だ。茶葉の多くは、台湾各地の契約農家が育てたもの。試飲してみると、茶葉ごとに味の特徴が異なるのがよくわかる。明るく居心地の良い店内で、茶葉の紹介を聞きながら、お気に入りの台湾茶を見つけよう。



📍 台北市萬華区貴陽街二段 196 号
 ☎️ (02)2375-6527
 🌐 www.f-tea.com.tw 🕒 10:00-19:30



老明玉香舖



紙銭で作った花



惠安四神湯

艋舺老街からMRT西門駅に向かう途中、康定路と内江街の交差点そばに位置する「惠安四神湯」は、1965年創業の人気食堂だ。「四神湯」は、当帰や甘草など多種類の漢方薬をひと晩かけて煮込んだスープに、ハトムギ、オニパスの実、ヤマイモ、ブクリョウの「四神」と呼ばれる4種類の漢方食材、豚の大腸を加えた薬膳スープ。身体の疲れを癒してくれる滋味深い味わいの薬膳スープで散策を締めくくろう。



📍 台北市萬華区内江街 142 号 ☎️ (02)2371-0898
 🌐 facebook.com/4godsoup 🕒 6:00-19:00、土曜・日曜定休

龍山寺の約500m北に位置する貴陽街は、「台北第一街」の名を持つ台北で最も古い街道。「艋舺老街」とも呼ばれる。貴陽街に佇む1897年創業の「老明玉香舖」は、寺廟の参拝に欠かせない香の専門店。店内に入ると、漢方薬の淡い香りに包まれる。商品棚には香をはじめ、金箔や銀箔が貼られた紙銭などの参拝用品が所狭しと並べられている。線香の赤い箱のラベルに印刷されている人物は創業者で、色鮮やかでレトロなラベルのデザインは彼自身が手がけたものだ。老明玉では120年変わることなく、伝統的な製法で香をひとつひとつ手作りしている。白檀、沉香、甘草、陳皮などの天然の漢方薬を材料としているため、香をたくと心地良い香りがして、穏やかな気持ちになれる。現在は4代目が店を引き継ぎ、伝統的な香のほかに、普段使いしやすい形の香も販売している。外国人観光客には、少量包装のコーン型の香や、紙銭で作った桃や蓮花などの紙工芸が人気だという。



創業者がデザインした香のパッケージ



📍 台北市萬華区貴陽街二段 155 号
 ☎️ (02)2381-5569 🕒 9:00-21:00





台北市中正区南海路 53 号 ☎ (02)2303-9978
 🌐 tpbg.tfri.gov.tw 🕒 5:30-20:00

台北植物園

MRT小南門から徒歩3分の「台北植物園」は緑豊かな市民の憩いの場。前身は日本時代の1896年に設立された南洋植物の研究施設「台北苗圃」で、1921年に「台北植物園」と改名された。約8.2haの敷地内には、温室や蓮池、多肉植物園、水生植物園などがあり、2000品種を超える植物を栽培している。日本時代建設の日本家屋「南門町三二三」や洋館「台北植物園腊葉館」などの歴史的建造物も見どころだ。6月から7月に見ごろを迎える蓮池はとくに有名。

国立歴史博物館

植物園に隣接する「国立歴史博物館」では、中国の先史時代の甲骨青銅器をはじめ、唐三彩、書画など、多彩な文物を鑑賞できる。前身は1916年に開催された台湾勸業共進会（博覧会）の迎賓館で、戦後の1955年に歴史博物館となった。1970年代ごろまでに数回の増改築を経て、木造和風建築から鉄筋コンクリート造の中国宮殿様式建築に姿を変えた。2024年2月のリニューアルオープン後は展示空間が拡大。1階のミュージアムショップや蓮池が見える4階のレストランも観光客に人気だ。



台北市中正区南海路 49 号 ☎ (02)2331-1220
 🌐 www.nmh.gov.tw 🕒 10:00-18:00、月曜休館（祝日の場合は開館）



城南

清代末期に台北の中心に築かれた城郭「台北城」の南側は、一般に「城南」と呼ばれるエリア。日本時代には日本人も多く暮らしていたため、日本と関わりのある場所も多い。台北府城小南門（重熙門）南の台北植物園からスタートして、国立歴史博物館や賑やかな市場、庶民派グルメ、日本家屋の宿舎群を巡る小さな旅に出かけよう。



～ 歴史と庶民の味を巡る旅 ～



羊肉湯は臭みもなくあっさり

楽天羊肉

南門市場の前の羅斯福路一段を渡った向かいにある食堂「楽天羊肉」のロゴは、可愛いヤギのキャラクター。台湾では一般に「羊肉」はヤギ肉を指す。日本語で「マトン」と書かれた看板メニューの「羊肉湯」は、ヤギ肉のスープだ。羊肉湯のスープは当帰、清燉（塩味）、蒜頭（ニンニク）の3種。肉は排骨（骨付き）または肉片（薄切り）が選べる。皮付きの豚バラ肉の角切りを醤油だれで煮込んでご飯にのせた「魯肉飯」や小皿料理を合わせると定食の出来上がり！



📍 台北市中正区羅斯福路一段 25 号 📞 0958-572-101
 🌐 [instagram.com/sixdaymutton](https://www.instagram.com/sixdaymutton) 🕒 11:30-21:00



南門市場

歴史博物館を参観した後は、東に徒歩10分の「南門市場」へ向かおう。市場周辺は日本時代に「千歳町」と呼ばれた地域。人口増加に対応するため1907年に設立された「南門外市場」が南門市場の前身だ。後に「千歳町市場」と改められ、戦後の1946年に再び「南門市場」と改名された。1981年に完成したビルは、老朽化のため2019年から4年にわたり建て替え工事が行われた。2023年にグランドオープンを果たした新しいビルの南門市場は、明るく広々としたデパートのような空間。1階と地下1階は生鮮食品、乾物、総菜、菓子などの売り場で、ドライフルーツや中華菓子はお土産にぴったり。2階のフードコートは有名なグルメスポット。ランチタイムは混雑するため、早めに席を確保したい。



📍 台北市中正区羅斯福路一段 8 号 📞 (02)2321-8069
 🌐 www.tpanmen.org.tw 🕒 7:00-19:00、月曜休市
 ※ 2階の営業時間は店舗により異なる



有情出包所

「楽天羊肉」の裏手に佇む「有情出包所」は、ポップなインテリアの「刈包」専門店。日本で「台湾バーガー」としておなじみの伝統的な刈包は、半円形の白い蒸しパンに豚の角煮をはさむのが定番だが、「有情出包所」では、牛肉の焼肉とホットソース、牛肉煮込みと胡麻だれ、紅麴に漬けた豚肉の唐揚げと金柑ソースなど、新しい組合せの刈包が味わえる。揚げた生地とアップルフィリングやあんバターをあわせたデザート系も人気。

📍 台北市中正区寧波東街 9 巷 25 号 📞 (02)2321-5877
 🌐 [instagram.com/truebao_maker](https://www.instagram.com/truebao_maker)
 🕒 火曜 - 木曜 11:30-14:30、17:30-22:00、
 金曜 - 土曜 11:30-14:30、17:30-24:00、日曜 12:00-20:00、月曜定休



猪神的黄昏、南瓜天婦羅





金錦町

和菓子店の「金錦町」では、ギフトに最適な高級感のあるパッケージのお菓子を購入できる。一番人気の「金箔蜂蜜蛋」は、表面に金箔を貼った蜂蜜風味のカステラ。観光客には、金箔をトッピングしたパイナップルケーキ「金箔鳳梨酥」や、寒天と砂糖で作るパステルカラーの宝石のような砂糖菓子「琥珀糖」も人気。

📍 台北市大安区金華街 139 号 📞 (02)2395-2688 🌐 www.jinjind.com 🕒 11:00-19:00
※ 榕錦時光店はテイクアウト専門



臺虎 居餃屋

園内の散策後は、台湾のクラフトビールブランド「臺虎」が手がける居酒屋へ。「臺虎 居餃屋」は、「臺虎」自慢の生ビールやハイボールと一口サイズの焼き餃子で晩酌が楽しめる店。お酒が苦手な人にはノンアルコールカクテルがおすすめ。水餃子や鶏のから揚げ、コロッケ、ハンバーグ、麺類などのつまみも充実している。



📍 台北市大安区金華街 155 号 📞 (02)2391-0150 🌐 facebook.com/taihu.gyozaabar
🕒 月曜 16:00-23:30、火曜 - 木曜 12:00-23:30、金曜・土曜 11:00-24:30、日曜 11:00-23:30

城南有意思

2018年から、毎年4月に台湾の非政府組織（NGO）中華文化総会の主催で開催されている文化イベント。文化的な雰囲気の色濃い城南エリアの歴史や文化を紹介するガイドツアーやマーケットなど、様々な催しが行われる。

榕錦時光生活園區

MRT中正紀念堂駅3番出口前の金華街を東に10分ほど歩くと、沿道に日本家屋が並ぶエリアに到着する。日本時代にはこの北側に台北刑務所があり、日本家屋は刑務所の職員と家族が暮らす官舎だった。戦後、公務員宿舎に転用された宿舎群は、2010年代の再開発時には解体の危機にさらされるも、台北刑務所関連施設が台北市の古跡や歴史建築に指定されたことから保存が決定。修復を経て、2022年にレストランやカフェ、ショップが入居する文化商業施設「榕錦時光生活園區」としてオープンした。園区に到着したら、まずはインフォメーションセンターへ。台北刑務所の歴史や建物についての展示を見学すると、園内の散策がより味わい深いものになるだろう。ライトアップされる夜間の散策もおすすめ。



榕錦時光生活園區

📍 台北市大安区金華街 167 号 📞 (02)2321-8896 🌐 www.rongjinchoice.com 🕒 11:00-20:00



迪化街

お土産にはカラスミやドライフルーツ、茶葉などが人気

大稻埕エリアのメインストリート「迪化街」の南端はMRT北門駅から北へ約500mの南京西路との交差点。道の両側に立ち並ぶ赤レンガ造りの商家は、「騎楼」と呼ばれるアーケードでつながっている。騎楼を歩けば、100年あまりの歴史のある続く乾物や漢方薬、布地などの老舗問屋のほか、茶葉店、食堂、民芸品店などが次々と目の前に現れる。台湾ならではのグルメやお土産が見つかる人気観光スポットだ。



大稻埕遊客中心

永楽市場の向かいに位置する「大稻埕遊客中心」は、1階が台北市のトラベルサービスセンター、2階と3階が大稻埕の漢方薬店や喫茶店などを再現した撮影セットになっている。入館は無料で、2階の「菊元治装所」ではレトロ衣装のレンタルも可能だ。1920年代の大稻埕にタイムトリップしたようなレトロ空間で、思い思いに記念撮影を楽しもう！



1階が伝統市場、2階から上が布市場の永楽市場は迪化街のランドマーク

永楽市場

📍 台北市大同区迪化街一段 21 号 🕒 1 階 8:00-16:00、月曜休場、2-3 階 9:00-18:00、日曜休場



📍 台北市大同区迪化街一段 44 号 📞 (02)2559-6802

🌐 travel.taipei/vintage-clothing/ja

🕒 1 階 9:00-18:00、2-3 階 9:30-17:30、

衣装貸出 10:00-17:00

※レトロ衣装変身体験は当日受付可 (予約状況による)

大稻埕

清代に築かれた旧台北城の北門を起点に、南は忠孝西路、東は重慶北路、北は民権西路に囲まれた淡水河沿岸エリアを「大稻埕」という。清代末期から日本時代にかけて淡水河の水運により海外との貿易拠点として栄えた。現在も当時の「街屋」と呼ばれる赤レンガ造りの商家の建物が数多く残り、レトロな雰囲気がある街を歩いてみよう。



～レトロな問屋街の街歩き～



地衣荒物

「姚徳和」から民楽街を北に向かって歩いて2分の「地衣荒物」は、台湾の個性豊かなアイテムを集めたセレクトショップ。ユニークな店名は、藻類と共生する菌類の仲間で、岩や土がむき出しの裸地に最初に生育する「地衣類」と、ざるや箸などの簡単な作りの日用品「荒物」が由来という。台湾の作家の手による食器、服飾雑貨、インテリア雑貨、ジュエリーなどのほか、台湾の古道具など並ぶ店内では、不定期で企画展やイベントも開催される。



📍 台北市大同区民楽街 34 号 📞 (02)2550-2270 🌐 [instagram.com/earthingway](https://www.instagram.com/earthingway) 🕒 12:30-19:30、火曜定休



台北霞海城隍廟

永楽市場の北側に隣接する「霞海城隍廟」は、都市の守護神である城隍爺をはじめ、家庭を守る城隍夫人、婚姻を司る月下老人など、600を超える神々を祀る。なかでも月下老人は縁結びのご利益が高いと有名で、海外からも良縁を求める未婚者の参拝者が後を絶たない。月下老人に参拝する際には、廟に用意されている日本語の参拝ガイドの手順に沿って参拝し、赤い糸を持ち帰ろう。参拝後に良縁に巡りあえたら、結婚式の引き出物のお菓子「喜餅」を持ってお礼参りを忘れなく！



📍 台北市大同区迪化街一段 61 号 📞 (02) 2558-0346 🌐 www.tpecitygod.org 🕒 7:00-19:00



杜甲 A-Ma 台北迪化店

「DoGa」は、白ごまを唐辛子に詰めた「香酥脆椒」で知られる台南発の唐辛子スナックのブランド。「杜甲 A-Ma」はDoGaの原点である唐辛子を中心としたスパイスのコンセプトストアで、店名は創業者の祖母の名「杜甲 (DoGa)」と台湾語の「祖母 (A-Ma)」に由来する。ラグジュアリーな雰囲気な店で取り扱う商品は、無添加のラー油をはじめ、食べるラー油、スパイスを加えた茶葉、各種パウダースパイスなど。パッケージもお洒落でお土産にも最適だ。



📍 台北市大同区迪化街一段 159 号 📞 (02)2552-8787 🌐 [instagram.com/dogaama](https://www.instagram.com/dogaama) 🕒 10:30-18:30



姚徳和 青草號

霞海城隍廟を参拝したら、永楽市場の裏手の民楽街に足を運んでみよう。昔ながらの庶民的な商店が並ぶ民楽街は、迪化街より人通りが少なく静かな雰囲気だ。永楽市場の向かいに佇む「姚徳和」は、台湾で「青草」と呼ばれる薬草の専門店。創業は戦後間もない1946年で、現在は3代目が店を切り盛りする。人気商品は、ハーブティーのティーバッグや入浴用のバスバッグ。店頭のカウンターでは、紙カップ入りのハーブティーもいただける。

📍 台北市大同区民楽街 55 号 📞 (02)2558-9510 🌐 [facebook.com/YaodeHerb](https://www.facebook.com/YaodeHerb) 🕒 8:00-19:00、日曜 8:30-18:00





滋養和菓子

「滋養和菓子」は迪化街と涼州街の交差点に佇む和菓子店。1953年の創業以来、伝統的な日本の和菓子作りの技法と台湾の食材を組み合わせた和菓子を作り続けている。店内に並ぶ和菓子は、最中、どら焼き、焼きまんじゅう、パイナップルケーキなど多彩な品ぞろえ。その場で仕上げる最中とお茶のセットも人気で、休日には店頭で美味しそうに最中を食べる観光客の姿が数多く見られる。イチゴ大福が登場する冬場になると店頭で長蛇の列ができることでも有名。



羊羹、
栗まんじゅう、最中

📍 台北市大同区迪化街一段 247 号
☎️ (02)2553-9553 🌐 www.wagashi.com.tw
🕒 9:00-18:00



李亭香

1895年創業の「李亭香」は、迪化街の商店街の北端に店を構える老舗中華菓子店。人気商品の「平安亀」は平安と幸福を象徴する亀の甲羅を模したお菓子。落花生粉と麦芽糖を練り合わせた柔らかな生地で黒ゴマを包んだトフィーのような食感が特徴だ。緑豆糕（緑豆らくがん）などの伝統菓子も人気がある。イートインスペースでは、烏龍茶やコーヒーなどのドリンクとともに店自慢の中華菓子を楽しむ。散策の最後にお土産探しとティータイムを楽しもう！



📍 台北市大同区迪化街一段 309 号 ☎️ (02)7746-2200 🌐 lee-cake.com
🕒 10:00-19:00



同安樂

「杜甲 A-Ma」から迪化街を北に歩くと、まもなく右手に佇む閩南様式の古民家に出会う。この美しい平屋建ての建物では、清代に福建省泉州同安から大龍峒に移住した陳氏一族が、ギャラリーカフェ「同安樂」を営んでいる。陳氏は台北旧市街で最も有名で影響力があった一族で、大稲埕の200年あまりの栄枯盛衰を見守ってきた。店内は自由に参観できる。手前の部屋と中庭をはさんだ中間の部屋はギャラリーと客席、奥の部屋は客席となっており、1階では常設展とギフトの販売、中間の部屋のロフトでは特別展を行っている。優美な空間で、陳氏一族に伝わる衣装や生活用品をはじめ、台湾のアーティストの作品などを鑑賞しながら、台湾茶のセットや家庭料理を味わい、かつての台湾の生活を感じてみよう。

📍 台北市大同区迪化街一段 235、237 号
☎️ (02)2557-6939
🌐 instagram.com/tongannese
🕒 10:00-21:00





歩いて発見！新しい台北～